

岩手・宮城内陸地震に係る荒砥沢地すべり対策と大規模地すべり  
により出現した地形・景観の活用に関する検討会 第3回検討会

日時：平成21年11月23日(月)

13:00～16:00

場所：宮城県栗原市 ホテルエポカ

議事次第

1 開会

2 出席者紹介

3 座長挨拶

4 議題

(1) 滑落崖の変状と応急排土工の必要性について

(2) 荒砥沢ダムへの土砂流出状況とその対策の必要性について

(3) 対策工施工後の景観シミュレーションとビューポイント等について

# 岩手・宮城内陸地震に係る荒砥沢地すべり対策と大規模地すべりにより出現した地形・景観の活用に関する検討会の構成とスケジュール

## 《検討会委員》

井良沢道也（岩手大学農学部准教授）

金澤 大樹（栗原市・耕英地区区長）

佐藤 勇（栗原市長）

中静 透（東北大学大学院生命科学研究科教授）

松浦 純生（独立行政法人森林総合研究所水土保持研究領域長）

宮城 豊彦（東北学院大学教養学部教授）（座長） ※以上五十音順

石田 祐二（東北森林管理局森林整備部長）

## 《オブザーバー》

社団法人日本地すべり学会東北支部、宮城県

農林水産省東北農政局（荒砥沢ダム管理者）

## 《事務局》

林野庁東北森林管理局

## 《スケジュール》

8月（第1回）、10月（第2回）、11月（今回）、平成22年1月